君津市学校再編基本計画に係る評価について（最終評価）

教 育 部

１　目的

学校再編の基本コンセプト「子どもたちにとってよりよい教育環境」を目指し、学校の活性化を推進するため、平成２８年３月に基本計画を策定した。この基本計画の実施状況及び成果や課題を把握し、より一層活力ある魅力的な学校づくりの推進と、今後の再整備の方向性について参考にする目的として評価を行う。

２　学校再編の経緯

平成２７年１０月　学校再編基本方針　策定
平成２８年　３月　学校再編基本計画　策定（計画期間･･･Ｈ２８年度～Ｒ７年度）
平成２９年　１月　学校再編第１次実施プログラム　策定
・複式学級の解消が急がれる中山間地域を対象
平成３０年　４月　小中一貫教育（分離型）　周南中　周南小
平成３０年　４月　コミュニティ・スクール　周西南中　周西小
令和　元年　４月　**周東中学校　開校**（旧清和中、旧小糸中）
令和　２年　２月　学校再編第２次実施プログラム　策定
・市街地である君津地区を対象
・小中高の立地条件を最大限に活かした教育活動の展開
令和　２年　４月　**上総小櫃中学校 開校**
（旧小櫃中、旧久留里中、旧松丘中、旧亀山中）
清和小学校 開校（旧三島小、旧秋元小）
令和　３年　４月　**小糸小学校 開校**（旧中小、旧小糸小）
上総小学校 開校（旧久留里小、旧松丘小、旧坂畑小）
令和　４年　４月　**周西の丘小学校　開校**（旧大和田小、旧坂田小）
旧大和田小学校を施設として活用
令和　４年　８月　旧坂田小学校屋内運動場及びプール解体工事　契約締結
令和　５年　５月　周西の丘小学校施設整備説明会　開催（５月・７月）
令和　５年１２月　大和田・坂田統合施設整備工事　契約締結
旧坂田小学校の敷地
令和　６年　２月　学校再編第３次実施プログラムの検討を終了
・従来通りの学校配置の維持
令和　６年　４月　コミュニティ・スクール　上総小櫃中　小櫃小　上総小
令和　７年　８月　大和田・坂田統合施設　完成
令和　７年　９月　周西の丘小学校　移転

※小学校１７校⇒１２校
中学校１１校⇒　７校　令和７年度現在

３　評価について

（１）調査対象・方法
第１次・第２次実施プログラムにおける「統合」について、当該校児童等への無記名式のアンケート調査
周西の丘小学校学校アンケート調査（R7）
地域説明会等での保護者・地域の方からの意見徴収

（２）評価のまとめ

○第１次実施プロラム（統合）

統合については、児童生徒、保護者ともにおおむね良好である結果を得られ、教職員からも、統合により学校の一体感が形成されたと多くの意見をいただいた。また児童生徒は、新しい環境に順応し、再編の目標でもある、切磋琢磨できる環境になっていると考えられる。第１次実施プログラムにより開校した学校については、開校して５年程度が立ち、地域と小中学校が連携し、新しい伝統を築いている。教育委員会として、今後も支援していきたい。

○第１次実施プログラム（特色ある教育）

特色ある学校づくりの小中一貫教育については、児童生徒、教職員ともに、中１ギャップの解消という面で効果があったと意見をいただいた。しかし、施設分離型小中一貫教育であることから、行事等の兼ね合いで時数の確保が難しく、教職員の多忙感、負担が大きいという意見もあった。また、コミュニティ・スクールについては、学校へのボランティア活動において有益な活動ができた。どちらも人材不足等の課題はあるので、今後もより良いものになるように調整していく。

○第２次実施プログラム

児童生徒は、新しい環境に順応し、再編の目標でもある、切磋琢磨できる環境になっていると考えられる。周西の丘小学校の校舎の改修については、令和７年８月に無事完成し、９月に移転をした。特に情報センター（図書室）は、今までより開放的な作りで、本を楽しく読むことができると児童から好評である。また統合に向けた、通学路の安全対策等も充実しており、安心して学校に通うことができる通学路となっている。魅力的な学校で、子どもたちは、学校生活を送ることができている。

課題として、保護者の送迎による学校周辺の混雑などがあげられているので、今後も引き続き調整を図っていく。

○第３次実施プログラム

八重原地区の小学校を適正規模とするため、対象校である八重原小、北子安小、外箕輪小に、隣接する南子安小を加え、４校を３校に再編することをベースとし、学校再編と学区の見直しのパターンを検討した結果、安定的に適正規模を満たすことは困難であることや、更に、八重原地区は学区が隣接していることや学校間が近いことから、再編や学区の見直しを行ったとしても、指定学校の変更を行う世帯が予想され、このことも適正規模を担保することが困難であることが要因である。したがって、八重原地区小学校の再編については、課題の解消が困難であることから、第３次実施プログラムの検討を終了し、従来どおりの学校配置を維持する。

４　今後の方向性について

・学校再編基本計画は令和７年度を持って一区切りとする。
・「君津市活力ある魅力的な学校づくり表彰」は、当初の目的を達成したことから、令和７年度をもって終了とする。
・今後は、子どもたちにとってよりよい教育環境の整備を第一に考え、活力ある魅力的な学校づくりを推進するとともに、児童数生徒数の推移や学校施設の状況等を日々把握し、教育環境の整備について検討していく。